介護休業手当金請求書

事務局長	共済課長	医療給付係長	医療給付係

下記のとおり支給してよろしいか。

組(耳		番 号						所属名							
7	フ リ ガ	ナ						所属コード							
											標準報	酬等	級表	:	
組合員氏名		氏 名						標準報酬		月額		勻	 	円	
		氏名及				続	柄	-	※ 給与担当名: (押印可)						
組	合員の	び続柄				()	介護休暇の	1		和	年	Ē	月	日
介言	獲を必要							介護休暇の	の末日	令	和	年	Ē	月	日
と	する者	住所						介護休業	手当金	令 乖		年	月	月	から
								の請求	期間	令 禾	ÎI :	年	月	日	まで
				月分		月	分		月	分				月:	分
	休暇日数 請求額(1			日			日			E	1				日
日単	位で取得日数のみ)			円			円			Р	3				円
072	H 3A*>*//	請求金	盆額		円			【決	定額(‡	共済	 課記入	.欄)			円】
送金	フリガナ				フリガナ				預金	種別	J 🗆	<u> </u>	垄	番	号
金先	銀行名			銀行	支店名			支店	普	通					
	上記のとは	おり請求し	」ます。								•				
	札幌市耶	哉員共済	組合理	里事長 裑	Ę										
	令和	年	月	目		n.=r	₹								
					請求者	住所									
						氏名									
	上記の記	載事項は	事実と	:相違なレ	ものと認め	ます。									
	令和	年	月	日				職名							
						所	属長	氏名					É	<u>:</u> []	

- 1 標準報酬欄には、所属の給与担当者の証明をうけてください。
- 2 介護休暇の取得時間を明記した出勤簿(写)及び介護休暇簿(写)を必ず添付してください。

- 3 通帳又はキャッシュカードの写しを添付してください。 4 網掛け部分は記入しなくてもよいです。 5 要勤務日数が20日の月は、支給された給料額との調整があります。

	職	員番号	氏名						に係る	報酬に	こつい	て、		
	以一	下のとおり証明する。												
給	*	《介護休業取得月の給料調整後に記載	令和 年	月	令和	年	月	令和	年	月	令和		年	月
与		標準報酬	等級 第月額		等級 月額	第		等級 月額	第		等級 月額	第		級円
		要勤務日数	7.1 RA	日	77 120		日	7, 10		日	77 82			日
担		調整前の給料		円			円			円				円
		調整前の地域手当		円			円			円				円
当		給料		円			円			円				円
課	調	地域手当		円			円			円				円
硃	整後) 手当		円			円			円				円
に	及 の) 手当		円			円			<u>円</u>				円
, ,	報) 手当		円			円			<u>円</u>				円
ょ	酬※) 手当		円田			円田			<u>円</u>				円
	II	期間中の報酬支給額計 寒冷地手当(直近の支給総額を記載)		円田			円田田			<u>円</u>				円田
る	ш		12.24.34.44.14.14	円	14 E KE	然)ァ士+/ .	円	公热工	. N/. TL v N H	円出機	会工!()	は16分	,	円
証		特殊勤務手当、時間外勤務手当な寒冷地手当は、直近で支給した額											` •	
明		象者の各報酬について、遡って追戻や差 象期間、報酬種別、金額及び計算内容	額調整を行った	場合はそ	·Ø /	令和	年	月	日	札			号	
						職名	I							
欄														
						氏 名	ı						印	
						(所属機関	間の長)							
	出勤	総料額 地 ア (円+	或手当·初任給調	問整手当 円		勤務日数		=		Г	_			
							日 =	= = =		F	円 円 円			
	しな	- 給料額	成毛当• 初任給課	關數毛出		(□ ‡	日 =	=		F	円			
共	しなかっ	イ <u>(</u> 円+	或手当·初任給調		<u>×1</u> 2	(円未	日 =	=	× 7.7	F	円 円			円
共済	かった	イ (円 + 1,87 扶養手当・住居手当等の合計月	76 額		<u>×1</u> 2		日 = 日 = 満切捨	=	× 7.7	F	円 円			円
済	かった期間	イ (円 + 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ (円) -	76 額		<u>×1</u> 2	(円未 F	日 = 日 = 満切捨	=	× 7.7	F	円 円			円
済組	かった期間に支	イ (円 + 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ (円) = 寒冷地手当額	76 額 - 22	円)	<u>×1</u> 2		日 = 日 = 活切捨	=	× 7.7	F	円 円			円
済	かった期間に支払わ	イ 円+ 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ (円) = 寒冷地手当額 エ (円) - 出勤しなかった期間に支払われた報酬	76 額 → 22 ÷ 264	<u>円)</u> = =		F	日 = 日 = 日 = 日 = 日 = 日 = 日 = 日 = 日 = 日 =	= = : ⁽⁽⁾)		F F 75 =	9 9 9 9			
済組	かった期間に支払われ	イ 円+ 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ (円) = 寒冷地手当額 エ (円) -	76 額 → 22 ÷ 264	円) = = 用(円	未満切	F	日 = 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	= = : ⁽⁽⁾)	イナスのも	F F 75 = 湯合は、	円 円 円			。)
済組合	かった期間に支払われた報	イ 円+ 1,87 技養手当・住居手当等の合計月ウ 円) - 寒冷地手当額 円) - 出勤しなかった期間に支払われた報ق ① (アーイ)+ウ+エ= ② (アーイ)+ウ+エ=	76 額 → 22 ÷ 264	円) = = 用(円	未満切	F P 捨て。ただ	日 = 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	= = :*て)) イ)がマ イ)がマ	イナスのも	F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	円 円 円			。)
済組 合 記 入	かった期間に支払われた報酬と	イ 円+ 1,87 扶養手当・住居手当等の合計月ウ ウ 円) - 寒冷地手当額エ 円) - 出勤しなかった期間に支払われた報酬 ① ① (アーイ) +ウ+エ= ② (アーイ) +ウ+エ= 標準報酬月額 核	76 額 → 22 ÷ 264 H日額	円) = = 円(円	未満切未満切	F P 捨て。ただ 捨て。ただ	日 日 : 満 切 f	= = :て)) イ)がマ イ)がマ	イナスのも イナスのも 給付日額	F F F F F F G G G G G G G G G G G G G G	円 円 円 (アーイ))をゼ		。)
済 組 合 記	かった期間に支払われた報酬	イ 円十 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ (円) 音 寒冷地手当額 エ (円) 音 地勤しなかった期間に支払われた報酬 ① (アーイ)+ウ+エ= ② (アーイ)+ウ+エ= 標準報酬月額 給付日額 年 月分年月分年月分年月分年月分年月分年月分年月分	76 額 → 22 ÷ 264 ÷	<u>円)</u> = = 円(円) 数1	未未 報((((F 捨て。ただ 捨て。ただ	日 = 日 日 満 明 日 日 1	= = (**) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*	イナスの切 イナスの切 給付日額 介休取得 × × ×	F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	円 円 (アーイ) (アーイ) 支給決策)をゼ 定額	ロとする	。)
済組 合 記 入	かった期間に支払われた報酬との調整	イ 円十 1,8% 扶養手当・住居手当等の合計月 ウ 円) 音 寒冷地手当額 円) 音 エ 円) 音 出勤しなかった期間に支払われた報酬 ① ① (アーイ) + ウ + エ = ② (アーイ) + ウ + エ = 標準報酬月額 橋 給付日額 年 年 月分 日 日	76 額 → 22 ÷ 264 ※ 264 ※ 264 ※ 264 ※ 264 ※ 264 ※ 364 ※ 464 ※	<u>円)</u> = = 円(円) 数1	未未 報(((() 丁	F	日 = 日 日 満 明 日 日 1	= = (())がマイ)がマイ)がマーク))))	イナスの切 イナスの切 給付日額 介休取得 × × ×	F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	円 円 (アーイ) (アーイ) 支給決策)をゼ 定額	ロとする 分	。) 。) 円 円